

(資料1)

## 再生に取り組む中小企業経営者からの報告

# 老舗飲食店の抜本再生 飲食店・東京都

新会社への営業譲渡  
信用金庫によるシンジケートローン組成

事例1  
【第713号案件】

## (株)川千家

[相談前の状況] 資本金 1,000万円、売上高 2億6,000万円、従業員 36名  
創業250年の老舗。需要動向を読み誤った宴会場の増設等により債務が増加した上、  
経営管理の欠如、営業政策の失敗等から収支赤字となり、大幅な債務超過に至った。

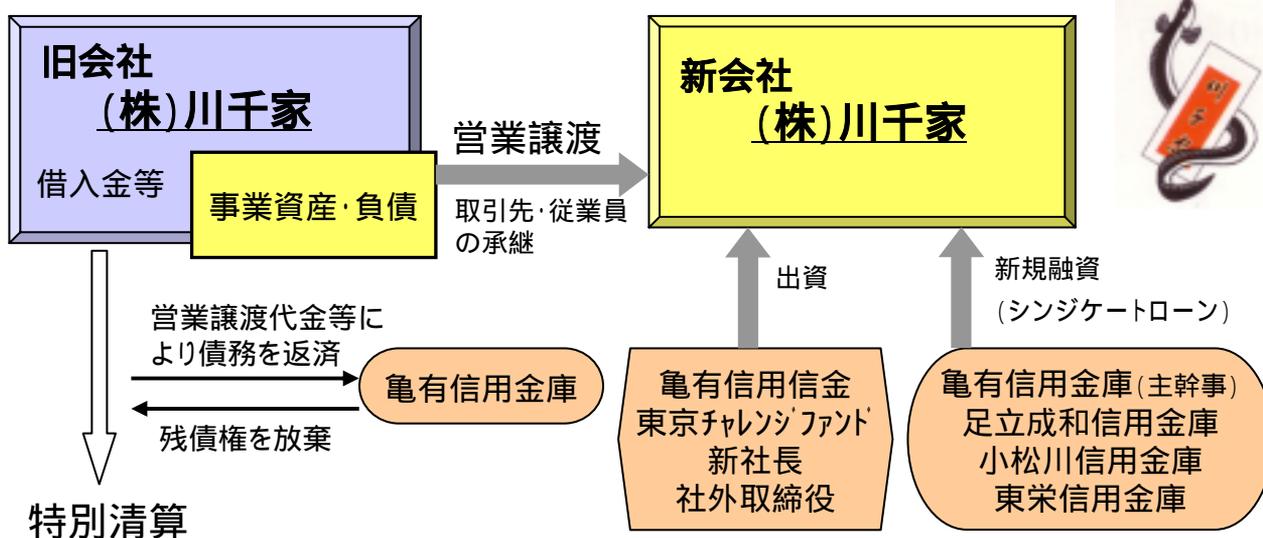
相談(平成15年12月)

## 東京都中小企業再生支援協議会

再生計画策定支援(平成15年12月～平成17年12月)

- ・事業再生スキームの提案、事業分析、事業改善支援、事業計画数値の整合性検証、  
リーガルチェック等の実施
- ・金融機関、再生ファンドとの調整・連携、シンジケートローン組成の助言
- ・協議会支援の下、同社の改善努力が債権者に認められ、再生が実現

## 【再生計画】



- 【経営責任】 現社長は経営責任を取り退任、個人資産を全て提供し求償権を放棄。
- 【事業面の改善】 新経営体制のもと経費削減、営業、サービス、メニューを強化。
- 【経営監視体制の強化】 債権者(シンジケートローン)及び株主(出資)によるガバナンス確保。

【計画】 計画策定年度に黒字転換、3年後に実質債務超過解消、3年で有利子負債の対CF倍率9.4倍

### 【現在の状況】

- ・概ね事業計画通りに業績推移中
- ・座敷部門の稼働率も着実に回復中
- ・事業好調により雇用補充

### 【地域経済への影響】

- ・創業250年の老舗企業の正常化により、  
観光地でもある地域経済への悪影響回避

計画実行により

# 新会社の事業承継と旧会社の特別清算 ショッピングセンター・鳥取県

会社分割による  
新会社事業承継

事例2  
[第714号案件]

## 倉吉ショッピングセンター(株)

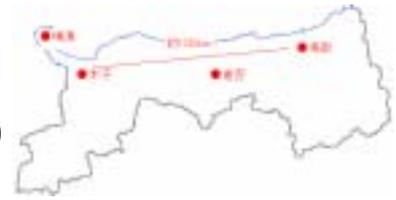
[相談前の状況] 資本金 4億9,800万円、売上高 3億7,200万円、従業員 7名  
「地元3原則」(地元の資本、テナント、運営)のもと60店舗の地元店舗が入居。  
核テナントの業績不振による家賃の延滞、テナント入替の制約の中、隣接スーパーが倒産、  
売上はピーク時の約7割程度まで低迷。多額の有利子負債から資金繰りが逼迫する状況。  
また同一地域にあったダイエー参加の競合店は閉鎖となった

相談(平成15年8月)

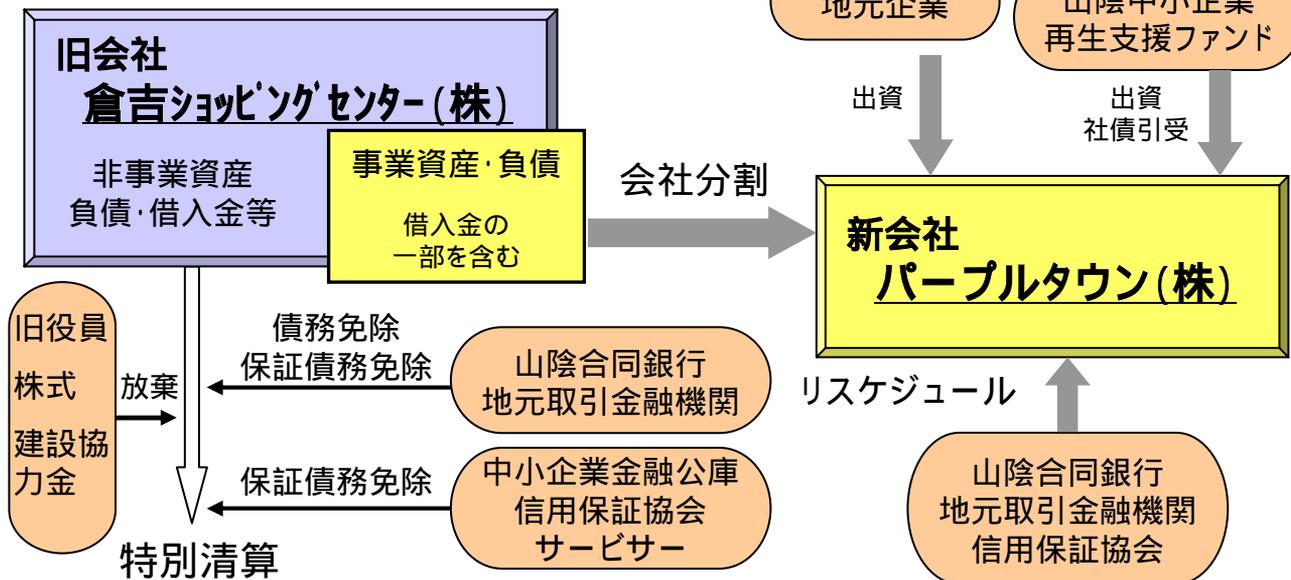
## 鳥取県中小企業再生支援協議会

再生計画策定支援(平成15年8月~平成17年12月)

- ・会社分割と特別清算を利用した再生スキームの提案
- ・事業面の抜本的な改善策の検討・アドバイス
- ・取引金融機関、保証協会、再生ファンドとの調整



## 【再生計画】



【経営責任】 特別清算することで旧会社株主、経営責任追求、新会社社長として流通大手の経験者がターンアラウンドマネージャーとして就任

【事業面の改善】 流通業界に精通したコンサルタントの力を借り、積極的に店舗誘致、販売促進を実施。外壁の改修、フードコートの設置などにより、集客力をアップ

【計画】 計画策定年度に黒字転換及び実質債務超過解消、2年で有利子負債の対CF倍率10.1倍

## 【現在の状況】

(単位:百万円、千人)

		04年	05年	06年	
				計画	予想
パー プル	売上	372	454	507	491
	経常利益	△7	△92	41	47
SC	入場者	2,057	2,015	2,056	2,088
	売上	4,716	4,662	4,895	4,836

## 【地域経済への影響】

- 1) SC存続で地域地盤沈下に歯止め(テナントへの悪影響回避)  
・キテナントの入替、県外テナントの積極導入、大型書店の導入  
・再生キャンペーン実行によるSC全体入場者数挽回
- 2) イベントの充実により活性化 - 行政ともタイアップ(写真展等)
- 3) ダイエー閉鎖に伴うテナントの吸収(4社)、雇用確保(17人)

計画実行により